

ショートコメント vol.380 (2025 年 10 月 10 日)

テーマ：街角景気にみる大阪・関西万博の影響（25 年 9 月）

～駆け込み来場で好影響が拡大も、閉幕後の需要減への言及も～

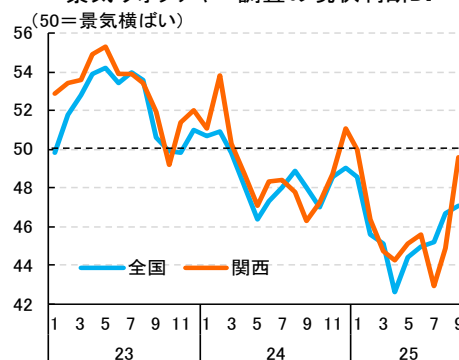
●街角景気の現状判断

25 年 9 月の景気ウォッチャー調査の結果が発表され、現状判断 DI は全国、関西ともに上昇した（図表 1）。下旬になってようやく猛暑が和らぎ、秋物商材に動きがみられたほか、訪日客消費の前年割れの動きが落ち着いてきたことなどが要因とみられる。

一方、関西の改善傾向は全国以上となっているが、これは閉幕を控えた万博による効果が主因と考えられる。閉幕まで1か月を切り、駆け込み来場の動きが増えていることで、来場者数の急増につながっている。

ただし、全国、関西ともに景気自体は楽観できず、特に食料品を中心とした物価の上昇が続く中、消費の動きは芳しくない。実質賃金の前年割れも続く中、食料品や衣料品などを中心に、節約志向が続いているのが現状である。

【図表 1】
景気ウォッチャー調査の現状判断 DI



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」、以下同じ

●万博による街角景気への影響

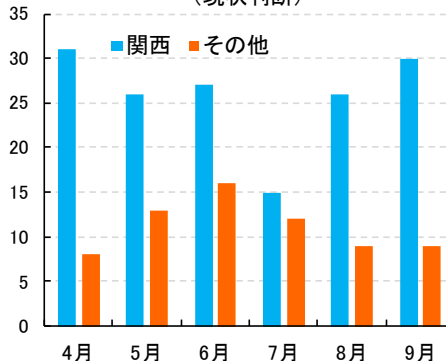
一方、関西の街角景気における万博の影響を改めてみてみたい。本調査では景気判断に加え、それに付随する定性コメントも聴取している。

その中で万博への言及状況をみると、現状判断での万博関連の総コメント数は全国で 39 件と、前月調査よりも 4 件の増加となった。基本的には関西でのコメントが中心であり、その他の地域でのコメント数は非常に限られる（図表 2）。

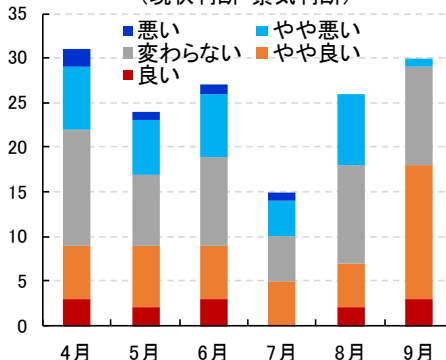
特に、その他地域でのコメントは直近で減少傾向にあるなど、夏休み以降も増加がみられない。会期後半は広域からの集客を期待する声があった中、コメント数をみる限り、そうした動きは期待を下回った可能性が否定できない。

また、訪日客を中心とした万博観覧後の国内旅行（関西圏以外）の動きも、それほど増えなかった可能性が出てきた。ただし、この動きは受入れ側には体感しにくい（一般の訪日客との見分けがつかない）だけに、改めて検証が必要とみられる。

【図表 2】
万博関連の地域別コメント件数
(現状判断)



【図表 3】
(関西) 万博関連のコメント件数
(現状判断・景気判断)



●万博による景気への影響の変化

なお、関西でのコメントの傾向に注目すると、万博コメントに付随する景気判断の傾向は、ここへきて「やや良い」の数が大きく増えている（図表 3）。閉幕前の駆け込み来場の増加を背景に、

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点でのものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

プラスの効果がより強く出ている可能性があり、この点は関西にとって明るい材料といえよう。

9月調査の万博コメントを、業種別・景気判断別にみると、明るい声が目立つのは百貨店となっているほか、コンビニやホテルでもプラスの動きがみられる（図表4）。これらの3業種は、いずれも従前から万博の好影響が出ていた業種であり、来場者の急増を受けて、その動きが強まる形となっている。

●閉幕後の需要減への懸念

一方、9月調査の先行き判断では、万博閉幕後への言及が増えている。それらのコメントを業種別・景気判断別にみることで、万博閉幕による影響の大まかな把握が可能となるが、その結果が図表5である。

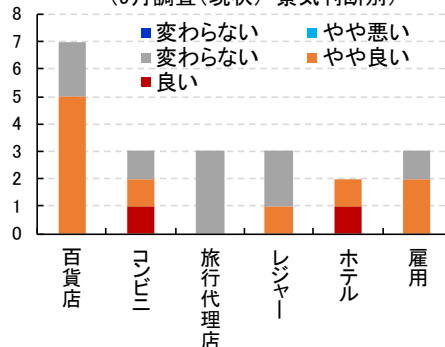
図表4のおおむね反対の傾向といつてよく、小売店やホテル、コンビニ、タクシー、百貨店などで、「やや悪くなる」、「悪くなる」との判断がみられる。

一方、レジャーやレストラン、旅行代理店などでは、比較的に明るい見通しとなっているが、これは万博に奪われていた需要が戻るというニュアンスである。

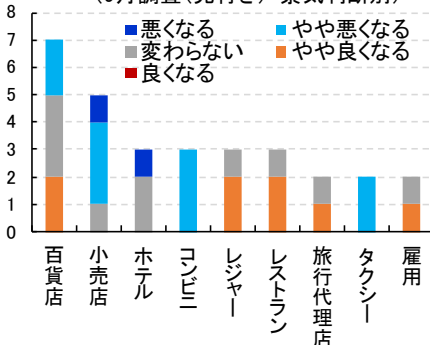
雇用でもプラスの見通しが示されているが、万博で働いていた人が、閉幕によって次の仕事を探すことへの期待であり、語学対応やホスピタリティの面などで高いスキル・能力をもつ人材の登場に期待する声が聞かれる。

こうした中で注目されるのは、万博閉幕による悪影響について、どの業種に特に厳しい動きが出るかであろう。その意味では、図表5に表れているように、百貨店やホテルで悪影響が警戒される。特にホテル業界では、万博の開催が単価の急上昇につながっていただけに、その反動の動きが注目される。

【図表4】（関西）万博関連のコメント件数
（9月調査（現状）・景気判断別）



【図表5】（関西）万博関連のコメント件数
（9月調査（先行き）・景気判断別）



本件照会先：大阪本社 荒木秀之
TEL: 06-7668-8805 mail: hd-araki@rri.co.jp